



竹村 亜希子

中学二年の春、仙人のよう
な男性がフラリと名古屋の自
宅を訪ねてきた。「熊本山
の時代」に迷える人々が多い。企
業のパティー
なで占いコーナーを聞くア
イデアがヒットし、占い師
集団「占いの玉手箱」を結成
した。

「仙人」はまた
演説の終に出た
。その奇妙な体
験が少女の生き
方を決めた。
「仙人」が姿を
消してから九
年。結婚し、三
児の母となった
ある日、靈感が
ひらめき、占
いの世界に飛び込
んだ。不確実性
の時代に迷える
人々が多い。企
業のパティー
なで占いコーナーを聞くア
イデアがヒットし、占い師
集団「占いの玉手箱」を結成
した。

駆けるシャーマン

のーク。雑然と積み上げら
れた本や書棚。ヒロードのカ
ーテンなどのおそろし
い舞台装飾はどこにもなく、
アツケラカンとした明るさの
中で占う。星占い、東洋易学
はマイコンも駆使する。
いま、占いだけの世界から
一歩踏み出そうとしている。
「サン・ジョルディの日」。
スペイン・カタルーニャ地方
に伝わる習俗で、四月二十三日
日には、男性は赤いバラを、
女性は本を愛する人に贈る。
スペインの守護神から起きた
そのならわしをわが国に紹介
しようとする。マスコミに注
目された。三十六歳。行動派の
集団「占いの玉手箱」である。



【登場】は都心のマンシヨ

文 松谷 洋
写真 宮田 正和